

令和4年度 社会福祉法人さくらんぼ 事業報告

令和4年度は、7月から9月上旬にかけて利用者及び職員とその家族にも新型コロナの感染が続き、就労継続支援B型事業所全体の収入が大幅に減少した。9月中旬以降、感染者はほとんどなく、また事業所の閉開所基準を見直したこともあり、大きな影響なく運営できた。

継続的な課題である利用者確保については、新たに事業所見学会を開催し、参加した行政機関や医療機関等の職員に向けて事業所の魅力をアピールするとともに、様々な意見を聞くことができる良い機会となった。

また、今後も安定した法人・事業所運営ができるように中堅職員を対象とした内部研修を開催し、次世代の施設長・管理職の育成に取り組み、またサービスの質の確保・向上のため、どの事業所でも同様のサービスが提供できるように適正化・基準の均一化を図れたことは、当法人として大きな成果となった。

1. 積立

【今年度の計画】

- ・B型事業所の利用者確保、計画作成と自立生活援助を効率化する等、事業収入を増やす。
- ・職員の配置を見直し支出を削減し、積立を進める。

<下半期の計画：風の谷の単独事業化とモナモナの移転に向け、資金を確保する>

- ・現状は、かなり厳しい経営状況であるため、利用者確保に努めるとともに、更なる支出削減に取り組む。
- ・当法人の利用者でも自立生活援助を利用し支援することが妥当であれば、積極的に利用に繋げる。そのための研修も開催する。

【1年間の状況】

- ・B型事業所全体の利用者数は、新規利用が14名、退所が12名となり微増となった。
- ・事業収入については、B型が予算比100.4%（当初予算比92.7%）、計画相談が105.3%、自立生活援助が111.0%（当初予算比225.8%）となり、第2次補正予算で計上していた収入は確保できた。また当初予算からはB型事業所全体で約490万円の減収となったものの、経費削減にも努め、最終的には黒字となった。
- ・自立生活援助に関する内部研修会を開催し、その後サービス利用に繋がった。

2. 事業I（現存の事業について）

【今年度の計画】

- ・事業・支援の適正化を意識して、業務マニュアルなどを検討する。
- ・感染症や自然災害の脅威の増加に伴い、業務継続計画（BCP）の策定が義務化されるため、それに向けた準備を進める。

<下半期の計画：風の谷の単独事業化の準備を進める>

- ・風の谷は店舗営業だけでなく、その他の販売作業を模索する。
- ・単独事業化の具体的な時期については、風の谷の利用者・作業だけでなく、ハル工房の利用状況にも左右されるため、2ヶ月ごとに状況確認を行う。
- ・地域活動支援センター・相談支援事業所の支援内容の適正化・基準の均一化に取り組む。

【1年間の状況】

- ・就労継続支援B型、及び、地域活動支援センター・相談支援事業所の支援内容の適正化・基準の均一化に取り組み、事業所間の連携強化に取り組んだ。
- ・業務継続計画（BCP）については、感染症は策定済、自然災害は引き続き策定している。
- ・風の谷の販売作業については、様々なことを検討・模索したが具体化までには至らず。
- ・単独事業化の具体的な時期を考えるにあたり、定期的な状況確認はできなかったが、ハル工房の利用者状況を踏まえ、遅くとも次年度10月開始と確認した。

3. 事業Ⅱ（新事業について）

【今年度の計画】

- ・自立生活援助を効率的に行える法人全体の体制を考える。

<下半期の計画：エアー企画内で、風の谷（作業班）の準備を開始する>

- ・9月中旬から関係機関に向けて利用者の募集を開始しており、10月3日からは本部建屋3階で作業を開始する。

【1年間の状況】

- ・自立生活援助に関する内部研修会を開催し、その後サービス利用に繋がった。
- ・風の谷（作業班）の準備については、予定通り10月3日から「ハル工房」という名称で開始（3月末時点、利用者3名）し、商品製作や販売方法について模索が続いている。

4. 人事・人材育成

【今年度の計画】

- ・新規事業や事業継続に向けて、中堅職員研修で次期施設長等の人材を育成する
- ・エリアマネージャー制度を試行する。

<下半期の計画：風の谷単独事業化、モナモナの移転に向けた人事異動を検討>

【1年間の状況】

- ・中堅研修は、当初の予定通り1年を通して実施し、職員個々の成長に繋がった。
- ・エリアマネージャー制度については、現状の体制を加味し、導入を見送った。
- ・風の谷単独事業化、モナモナの移転に向けた人事異動を検討した。

5. 物件

<下半期の計画：モナモナの移転先を探す>

- ・風の谷の単独事業化の具体的な時期が決まれば、それに合わせて取り組む。

【1年間の状況】

- ・風の谷の単独事業化は、遅くとも次年度10月としたため、持ち越しとなった。

6. 新たな取組み

<下半期の計画：自主活動の経費や内容等を検討する>

- ・自主活動の具体的なイメージの検討を始める。

【1年間の状況】

- ・検討できず、次年度の計画に盛り込んだ。

令和4年度 就労継続支援B型事業所 デザイン工房エアー企画 事業報告

1. 利用者の状況 ◆今年度目標利用者数：15.5名 ◆昨年度実績…平均利用者数：17.2名 ◆昨年度延べ利用者数：4,356名

■内職班

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	31	30	29	29	29	29	28	29	29	30	30	31	
延べ利用者数	352	312	336	262	291	323	308	303	294	294	293	340	3,708
開所日数	21	20	22	20	21	22	21	21	21	20	20	23	252
平均利用者数	16.8	15.6	15.3	13.1	13.9	14.7	14.7	14.4	14.0	14.7	14.7	14.8	14.7

■手芸班

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数							3	3	3	3	3	3	
延べ利用者数							21	29	21	28	36	34	169
開所日数							16	17	16	15	17	19	100
平均利用者数							1.3	1.7	1.3	1.9	2.1	1.8	1.7

■全体

全体平均利用者数	16.8	15.6	15.3	13.1	13.9	14.7	15.7	15.8	15.0	16.1	16.5	16.3	15.4
目標達成率	108.1%	100.6%	98.5%	84.5%	89.4%	94.7%	101.1%	102.0%	96.8%	103.9%	106.1%	104.9%	99.3%

2. 工賃の状況

①作業収入

■内職班

◆昨年度作業収入：2,170,297円 ◆昨年度工賃支払実績…2,088,664円

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職	156,660	136,797	97,094	85,066	128,578	145,592	176,940	171,722	199,462	164,072	225,346	73,552	1,760,881
印刷	0	718	0	0	0	0	0	0	0	0	24,969	0	25,687
資源回収	4,145	4,059	3,825	3,438	4,469	29,223	3,425	5,288	4,653	4,450	4,059	34,501	105,535
その他	0	0	0	0	0	32,200	0	0	0	0	0	25,750	57,950
作業収入合計	160,805	141,574	100,919	88,504	133,047	207,015	180,365	177,010	204,115	168,522	254,374	133,803	1,950,053
支払総合計	159,434	139,898	99,643	80,798	117,664	189,090	168,957	168,602	187,905	156,188	217,329	114,866	1,800,374

■手芸班

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自主作品売上							11,400	26,954	32,660	11,900	34,400	18,610	135,924
支払総合計							9,591	19,224	17,347	7,619	24,151	13,521	91,453

②支払工賃

■内職班 ◆昨年度工賃実績…内職：181.3円、資源回収：226.7円、資源荷出：43.9円、平均工賃：7,380円

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職単価	172	176	111	116	160	192	215	207	247	219	274	123	184.3
資源回収単価	296	225	318	429	372	591	342	661	332	185	225	249	352.1
資源荷出単価	66	69	63	95	93	65	74	66	77	76	57	57	71.5
工賃支払人数	23	23	21	21	22	23	21	22	21	22	23	24	266
平均工賃	6,932	6,083	4,745	3,848	5,348	8,221	8,046	7,664	8,948	7,099	9,449	4,786	6,768
最高工賃	15,122	15,022	11,125	10,562	14,580	24,942	19,005	20,776	21,064	17,099	22,001	10,935	

■手芸班

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作業単価							278	356	418	146	329	209	144.7
工賃支払人数							3	3	2	3	3	3	17
平均工賃							3,197	6,408	8,674	2,540	8,050	4,507	5,380
最高工賃							4,031	12,994	12,749	4,772	11,121	6,938	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業	
令和4.4月	4日 お花見レク 20日 コロナ感染対策のため午前閉所	【内職班】 (内職) 部品の検品、箱折り、DM封入、タオル畳み あまやさい販売など (印刷) 尼崎西家族会 さくらんぼを支援する会 疾病対策課 (資源回収) 月曜日：回収、火曜日：荷出 (新聞、ダンボール、古着、アルミ缶等) 【手芸班】 自主作品制作、販売 尼うえる出店	
5月			
6月			
7月	コロナ感染対策のため、4日間閉所 (11日午後、12日終日、15日終日、21日午後)		
8月	6日 室内レク(パンケーキ・輪投げ) 9日 就労支援フォーラム参加 ※そのわ夏祭り コロナ禍のため中止		
9月	24日 水辺まつり 30日 防災訓練 ※園田カーニバル コロナ禍のため中止		
10月	ハル工房開設(エアー企画手芸班)		通年で行っている支援 ・同行支援 24回 (健康診断、携帯ショップ、買い物、 北部保健センター、ハローワーク、市役所など) ・同伴受診 55回(精神科、内科、整形外科など、入退院含む) ・病院面会 0回 ・家族面談 1回 ・カンファレンス 7回 ・訪問 172回(施設居住者の面会 含) ※V氏：全ての面で自己管理が難しい為、訪問を要する頻度が多い ※X氏：体調不良の為通所困難になり、一時的に訪問送迎を行う
11月	5日 園田ステージアートフェス【ハル工房】		
12月	14日 尼うえる【ハル工房】 28日 忘年会		
令和5.1月	12日 尼うえる【ハル工房】 14日 新年会		
2月	8・17日 B型事業所見学会 8日 尼うえる【ハル工房】	実習生受入 ・尼崎健康医療財団 看護専門学校(看護師) ・園田学園女子大学(看護師) ・神戸医療福祉専門学校中央校(精神保健福祉士) ・武庫川女子大学(精神保健福祉士) ・神戸女子大学(精神保健福祉士) ・大阪樟蔭女子大学(精神保健福祉士) ・甲南女子大学(看護師)	
3月	13日 農政課と協同し、小田南生涯学習プラザで 無人野菜販売を開始 5日 小田はるらんまん【ハル工房】 8日 尼うえる【ハル工房】 24日 防災訓練		

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		上半期の課題	取り組みと今後
個別の作成支援計画	1	遅延なくスケジュール管理を行う。	異動してきた職員を指導し作成することができたが、少し遅れることがあった。今後は期限を意識し行っていく。
就業活動の機会提供	2	利用者が安全かつ自主的に作業ができるように、環境を整え作業を提供する。	利用者が自主的に動けるよう、環境整備を意識して取り組むことができた。以前よりは取引先をしぼり、どの職員でも管理ができるよう対応している。継続的な課題として、繁忙期は受け取る資材が多く、管理が難しいことがある。
て、ま知 に、就つ識 向、た者・ け、た者能 た、た者力 支、た者能 援、た者力 行、た者能 高	3	就労支援のスキルを身につけられるよう職員を育成する。	法人内で行っている就労プログラムへ参加させ、就労支援に必要な視点や関わり方を意識できるよう指導した。継続してどの職員も就労支援の視点を意識できるよう育成していく。
生活相談、健康管理	4	見通しを立て、連携機関の中でエアー企画の役割を考え支援をする。	金銭受け渡しなどのリーチアウトを継続している利用者があり、エアー企画が各連携機関の情報集約を担っている。ご意向も尊重しながら、適切なサービスへ移行していくことが課題として残っている。
	5	職員は作業が忙しい時でも相談しやすい環境作りを意識する。	来所された方全員に、職員から挨拶や声掛けを行っている。また定期面談の際に時間を取り、丁寧に話を聞いている。

令和4年度 就労継続支援B型事業所 さくら工房 事業報告

1. 利用者の状況 ■今年度目標利用者数：11.5名 ◆昨年度実績…平均利用者数：10.6名

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	22	22	23	22	22	22	20	21	20	21	21	21	
延べ利用者数	224	212	276	227	221	242	211	216	217	227	232	264	2,769
開所日数	21	20	22	20	21	21	21	21	21	20	20	23	251
平均利用者数	10.6	10.6	12.5	11.3	10.5	11.5	10.0	10.2	10.3	11.3	11.6	11.5	11.0
目標達成率	92.2%	92.2%	108.6%	98.3%	91.3%	100.0%	86.9%	88.6%	89.5%	98.2%	100.8%	99.8%	95.5%

2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度作業収入：796,394円 ◆昨年度工賃支払い実績：756,234円

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 職	10,053	6,870	8,066	12,143	18,090	6,397	14,548	12,015	13,911	9,960	12,570	6,677	131,300
バザ	42,740	51,840	50,500	35,095	33,970	49,465	54,330	34,630	50,175	39,640	35,815	38,780	516,980
資源回収	460	451	425	382	496	3,247	380	587	517	495	451	3,834	11,725
イベント出店						19,400		35,100			12,850		67,350
その他			3,350	550	1,300		32,650	41,000	38,750	28,900			146,500
作業収入合計	53,253	59,161	62,341	48,170	53,856	78,509	101,908	123,332	103,353	78,995	61,686	49,291	873,855
支払総合計	53,231	59,074	59,780	47,867	53,010	76,154	85,330	102,770	87,204	70,738	61,552	50,594	807,304

○その他：みかん販売等

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…時間単価：210.2円 平均工賃：4,274円

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 職 単 価	138	156	120	98	109	126	228	158	244	154	78	101	142.5
工賃支払人数	17	15	16	16	16	15	16	14	14	15	14	15	183
平均工賃	3,131	3,938	3,736	2,992	3,313	5,077	5,333	7,341	6,229	4,716	4,397	3,373	4,411
最高工賃	7,989	10,164	9,620	7,515	9,496	11,481	14,504	19,094	15,558	14,245	13,122	9,298	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業
R4. 4月	■今年度目標利用者数：11.5名 ◆昨年度実績…平均利用者数：10.6名 14日午後 PCR検査対象者が出たため閉所	【内職】 シフォンケーキ型、クリアカップ、ワッシャー取り付け等 【バザー】 接客、清掃、商品の仕分け等 【販売】 みかん等季節の物 【資源回収】 随時回収 （新聞、ダンボール、古着、アルミ缶等） 【作業以外】 歌の会モナモナに移行 昼食会（新型コロナウイルスの影響で今年度開催せず） ラポール会議（月1回）
5月	7日 ビンゴゲーム大会	<p style="text-align: center;">通年でやっている支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同行支援 107回 （買い物、銀行、健康診断等） ・ 同伴受診 10回（精神科、内科等） ・ 自宅訪問 21回 ・ 病院面会 1回 ・ カンファレンス 8回 ・ 代行支援 1回 ・ 金銭管理 4名 ・ 社会福祉協議会同席 24回 ・ 区分認定調査同席 8回 ・ 介護認定調査同席 1回
6月	16日 ラポール交流会ファッションショー	
7月	9日 ゲーム大会&お菓子のつかみ取り 15・27日 PCR検査対象者が出たため閉所	
8月	31日 お楽しみ祭り	
9月	24日 水辺まつり 29日 防災訓練 ※園田カーニバル中止	
10月	15日 パンケーキレク 26日 あおぞらバザー	
11月	5日 園田ステージアートフェス 8・9日 チューリップ販売	
12月	6日 あおぞらバザー 10日 フルーツポンチレク 26日 たこ焼きレク	
R5. 1月	14日 カルタ取り、茶話会	
2月	8・17日 B型事業所見学会 11日 雪まつり	<p style="text-align: center;">実習生受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸医療福祉専門学校（精神保健福祉士） ・ 大阪樟蔭女子大学（精神保健福祉士） ・ 武庫川女子大学（精神保健福祉士） ・ 神戸女子大学（精神保健福祉士） ・ 尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護師） ・ 園田学園女子大学（看護師） ・ 甲南女子大学（看護師）
3月	11日 豚汁・おにぎりレク 30日 防災訓練 31日 お花見レク	

4. 上半期の課題への取り組みと今後

	重要項目	取り組みと今後
個別支援計画の作成	<p>本人の思いをしっかりとくみ取れる面談を行い個別支援計画に反映できるよう職員を育成する。</p>	<p>新人職員は中堅職員の面談に同席することで本人の思いをくみ取る面談を学び実際に個別支援計画を書くことで利用者の視点に立った目標設定ができる様に指導を行った。 また、中堅職員とアセスメントを共有する時間をしっかりと取り、目標の設定について、現状と今後の見通し、本人の思いなどについてしっかりと意見交換を行なった。</p>
生活相談、健康管理	<p>高齢化など利用者それぞれの持つ課題に対して先を見通した支援ができる様に取り組む。</p>	<p>日常の支援の中で利用者の年齢や内科的疾患などを把握し、機会を見つけて受診を促す声掛けなどをおこない大きく体調を崩すことなく支援できた。今後も高齢化は進むため意識して支援に取り組む。</p>

令和4年度 就労継続支援B型事業所 風の谷 事業報告

1. 利用者の状況 ◆今年度目標利用者数：6.5名 ◆昨年度平均利用者数：6.1名 ◆昨年度延べ利用者数：1,546名 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	12	13	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	
延べ利用者数	140	131	143	126	124	148	130	131	128	114	117	141	1,573
開所日数	21	20	22	21	20	21	21	21	21	20	20	23	251
平均利用者数	6.6	6.5	6.5	6.0	6.2	7.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	6.1	6.2
目標達成率	101.5%	100.0%	100.0%	92.3%	95.4%	107.7%	93.8%	93.8%	92.3%	89.2%	89.2%	93.8%	95.8%

2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度作業収入：1,288,850円 ◆昨年度工賃支払実績：795,235円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
店舗売上	97,300	105,100	116,200	108,900	121,650	117,500	119,200	129,200	143,100	130,200	144,000	155,300	1,487,650
出張・委託販売	0	0	0	0	0	53,000	0	100	100	200	500	0	53,900
売上合計	97,300	105,100	116,200	108,900	121,650	170,500	119,200	129,300	143,200	130,400	144,500	155,300	1,541,550
支払総合計	53,388	65,071	62,942	65,280	72,870	103,296	78,008	75,651	93,062	74,515	92,308	95,861	932,252

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…時間単価：334.1円、平均工賃：6,572円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間単価	263	327	281	340	420	547	398	393	499	421	523	449	405
支払人数	10	12	12	11	11	12	11	10	11	11	11	10	132
平均工賃	5,339	5,423	5,245	5,935	6,625	8,608	7,092	7,565	8,460	6,774	8,392	9,586	7,063
最高工賃	9,468	10,464	11,099	12,920	15,960	23,208	16,318	15,720	18,962	16,840	19,874	18,858	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業
4月	9日 花見レク	<ul style="list-style-type: none"> ・調理作業 ・接客作業 ・カレーデリバリー（法人内事業所・月2回） ・弁当・おにぎり販売（本部建屋のみ 週2回） ・外部販売：カレー販売（水辺祭り前日）
5月	7日 防災食を知ろう	
6月		
7月	9日 研究開発「つけ麺」「カレーうどん」	
8月	6日 防災訓練 9日 断水のため店舗休業	
9月	23日 水辺まつり 前日準備（カレー販売） 24日 水辺まつり 弁当販売 参加3名	
		通年で行っている支援
10月	15日 研究開発「ガトーショコラ」	<ul style="list-style-type: none"> ・同行支援 20回（郵便局、薬局等） ・同伴受診 9回（精神科、内科等） ・自宅訪問 12回 ・区分認定調査同席 1回 ・カンファレンス 9回
11月	5日 外出レク「園田アートフェス」	
12月	10日 忘年会 27日 大掃除 28日 茶話会	
R5.1月	14日 副菜づくり	
2月	8・17日 B型事業所見学会 18日 防災訓練 10日 バレンタインケーキ販売	
		実習生受入
3月	18日 慰労会	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪樟蔭女子大学（精神保健福祉士） ・神戸医療福祉専門学校中央校（精神保健福祉士） ・武庫川女子大学（精神保健福祉士） ・園田学園女子大学（看護師） ・甲南女子大学（看護師） ・尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護師）

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		重点目標	1年間の取り組み
個別支援計画の作成	1	職員体制が大幅に変わるため遅延ないように作成する。	月初めに計画月の利用者を確認し分担を決めて進めていったため特に遅延なく行えた。
就労の機会及び生産活動の機会の提供	1	利用してもらいやすい作業形態を目指すため、作業を広げることや新しい作業を模索していく。	<p>ケーキ作りを作業として取り組めるのか、法人内部へ向けて何度か試験的に販売を行った。店舗の作業もある中で定期的にケーキの作業をするには人間的にも場所的にも難しく、また外へ向けて販売となると営業許可等の変更も必要となり今回は見送ることにした。</p> <p>さらに今ある作業の中でカレーをパウチ加工して販売していくことも検討したがパウチにするための機械等の設備費が高額になるため、補助金等の活用も考え業者に相談したが今すぐの導入は難しいと判断。来年度にむけてコーヒーの販売を検討している。</p>

令和4年度 相談支援事業所 サポートセンターさくら 事業報告

1. 利用者の状況

A) 委託相談支援業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	9/35	14/44	14/22	14/44	19/50	15/45	16/53	17/51	18/50	13/45	12/49	14/46
会議等※	4	3	4	4	6	5	5	5	6	11	4	6

・委託／計画・地域移行・地域定着・自立生活援助

※尼崎市障害者自立支援協議会等（注1）運営部会議、あまがさき相談支援事業所連絡会（あま相）、精神障害者地域移行・定着支援協議会 等

B) C) 指定特定・指定一般相談支援業務（年間目標：計画：84名 モニタリング：156名 地域移行：24名 自立生活援助：24名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
① 計画相談	15/7	9/20	9/20	3/12	9/17	6/18	5/13	9/2	8/32	7/12	10/19	7/12	97/184
② 地域移行	0	1	1	1	1	0	1	2	2	2	2	1	14
③ 地域定着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 自立生活援助	3	3	3	4	4	4	4	1	1	3	1	4	35

・計画/モニタリング（どちらも他市分含む）

2. 現状と課題

A) 委託相談支援業務

<状況>

- ・個別相談の新規受け入れは1年を通して14件で、そのうち計画相談につながったのは4件（計画相談希望は受け付けていないため）。
- ・基幹相談支援センターから依頼があった支援に専門性の必要な方を、1件受け入れ、センターと連携を密にして支援している。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
尼崎市における、ピアサポーターの育成、活用のシステムを運用しながら、尼崎市疾病対策課とポルタと共に考えて適正化する。	昨年度に初めて公募でピアサポーター養成研修を行い、ピアサポーターの間口が広がった。活動の場も、地域の民生児童委員や医療生協など地域に根差した場を増やしていっている。
引き続き「地域移行・地域定着支援事業（地域啓発・人材育成業務）」等を受託し、尼崎市疾病対策課とポルタと共に、「精神障害者の地域包括ケアシステム」構築の役割を担う。	初めてケアマネージャー向けの研修を行い、多くの参加と反響があった。「精神障害者の地域包括ケアシステム」構築会議についても、疾病対策課とポルタと共に考え、会議前の家族に向けた研修も行った。

第1号議案（事業報告）

B) 計画相談について

<状況>

- ・サポートセンターさくら内に事業所ごとの担当者を配置したことで、事業所職員と協力して、スムーズに計画相談支援を実施できている。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
法人利用者の計画相談のうち、できる範囲で引き受けていけるように、事業所内で業務分担などを考える。	新規利用者についても受け入れることができている。ファレ「モナモナ」のみ、事業所職員が計画相談を担当しているため、次年度に向けてサポートセンターさくら内で担当を配置する予定。

C) 地域移行・定着支援について

<状況>

- ・面会できないまま、サービス更新時に、地域移行利用をやめることになった方がいた。
- ・他の病院では、徐々に面会できるようになり、適宜リモート等を使って退院に向けて住居の内覧等ができ、2月末に一人が退院された。

D) 自立生活援助について

<状況>

- ・サポートセンターさくら内では、必要に応じて自立生活援助を活用した。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
法人内利用者の危機介入を、自立生活援助事業に繋げるように法人内で必要な研修・調整を行う。	自立生活援助について法人内で研修を行い、事業所より相談のあった利用者について、自立生活援助を活用している。

E) その他の業務

- ・あまかれん（尼崎市精神福祉家族会連合会）は、内部で課題が発生し、あまかれんの存続や役員会のあり方について議論しておられ、次年度ひょうかれん（兵庫県精神福祉家族会連合会）の阪神地区研修会の開催を控え、適宜会長等と相談しながら支援している。

令和4年度 地域活動支援センター ファレ「モナモナ」事業報告

●事業運営基本計画

<状況>

- ・月1回地活会議を行い、移転に向けて当事業所の在り方について話を続けてきた。
- ・来年度の引越しに向けてのタイムスケジュールの確認を行ってきた。

本年度重点目標	取り組み
<p>中長期計画にある、今後のファレ「モナモナ」の目指す姿に向け、制度の狭間にいる利用者を重点的に受け入れる。他機関や法人内の他事業所との連携の中でファレ「モナモナ」の支援の在り方について考える。</p>	<p>地域活動支援センターと相談支援事業所の支援内容の適正化・基準の均一化を確認したうえで、新規受け入れをしていくことを話し合った。 また、移転に向けて各利用者の利用目的をしっかりと聞き、今後の支援についてサポートセンターさくらと一緒に考えていくことを確認した。 新規利用者は、問い合わせや見学はあったが、登録には至らない方が数名いた。</p>

1. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活支援登録者数	41	41	39	39	40	41	41	41	41	41	40	40	
初日通所人員	16	19	20	19	19	23	20	14	19	21	16	20	
開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	21	20	20	23	252
夕食提供日	16	16	17	16	17	15	16	17	13	15	16	17	191
夕食利用者平均	3.93	3.31	3.41	3.87	3.64	4.53	4.81	4.41	3.61	3.53	3.75	3.41	3.85

- ・午後からの利用が比較的少なかった。
- ・新規登録者：8月：1名（サポートセンターさくらより）、9月：2名（さくら工房、病院）
- ・退所者：2月：1名（エアー企画利用）

2. 現状と課題

①生活支援

<状況>

- ・土曜日開所にプログラムを提供していたが、利用者数があまり増えなかったため、内容や曜日にもよるが、平日に戻したことで参加者数は増えた。また、プログラムの運用を見直し、10月からのプログラムに参加する利用者はゆっくりとした雰囲気の中で落ち着いて参加できていた。
- ・長期間利用がない方には、定期的に連絡を入れ、体調など確認をした。

②個別支援

＜状況＞

- ・長期間利用なく連絡も取れない、体調が悪い利用者について、北部保健福祉センターの地域保健課や関係機関と連携し支援した。
- ・必要に応じて面談、生活相談、健康管理をした。また、利用者の身体的な不調の訴え等があれば、適宜、同伴受診をした。
- ・入院中の利用者の面会をした。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
<p>アセスメント表を用いることで利用者のニーズ、目的を明らかにし、それを職員間の共通認識としての支援に繋げる。</p>	<p>土曜日開所では半日を事務日とし、利用者を把握するためにアセスメント表や情報を共有して支援の在り方を見直した。 利用者の面談を行い、状況共有をしたが、長期間利用のない利用者については、手紙を送ったり、電話をしたりしたが、訪問ができなかったり、連絡自体が取れず面談ができなかった方が数名いた。</p>

③生活トレーニング

＜状況＞

- ・「おしゃべりカフェ」では、カード（短所を長所に変えるなど）を使い、人前で自分の意見を述べる、他の利用者の意見を聞くなどのトレーニングをした。利用者間でも、順番の促しや話を聞いた後の感想など発言することが見られた。また、ネガティブな事柄からポジティブな考えに変える内容のカードを新たに購入し取り組んだ。
- ・「食中毒」と「交通安全」の勉強会を開催し、利用者の生活に沿った内容にしたり、動画を観たり等工夫した。
- ・ダイエットの会では、椅子に座ってできる運動を中心に考え、動画を観ながら取り組んだ。

④夕食提供

＜状況＞

- ・新型コロナの感染対策としてプラスチック容器で提供をしていたが、6/10より通常の食器に戻した。そのためか利用数が増え、多い時で6名利用されており、特に金曜日は人が集まりやすい状況である。

⑤コロナに対する対応・支援について

- ・夕食提供についての対策は、上記④の通り。ただし、パーテーションの使用は継続し、黙食を促している。
- ・来所時、自動計測する体温計で利用者が各自で検温を続け、日付・名前・体温・体調を表に記入してもらい、体調欄に何か記載があれば、体調確認している。また、利用者同士で検温をしたか、手洗いと消毒をしたかなどの声の掛け合いも見られている。
- ・常に換気を行い、机・ロッカー・椅子などの手が触れる物の消毒を続けている。